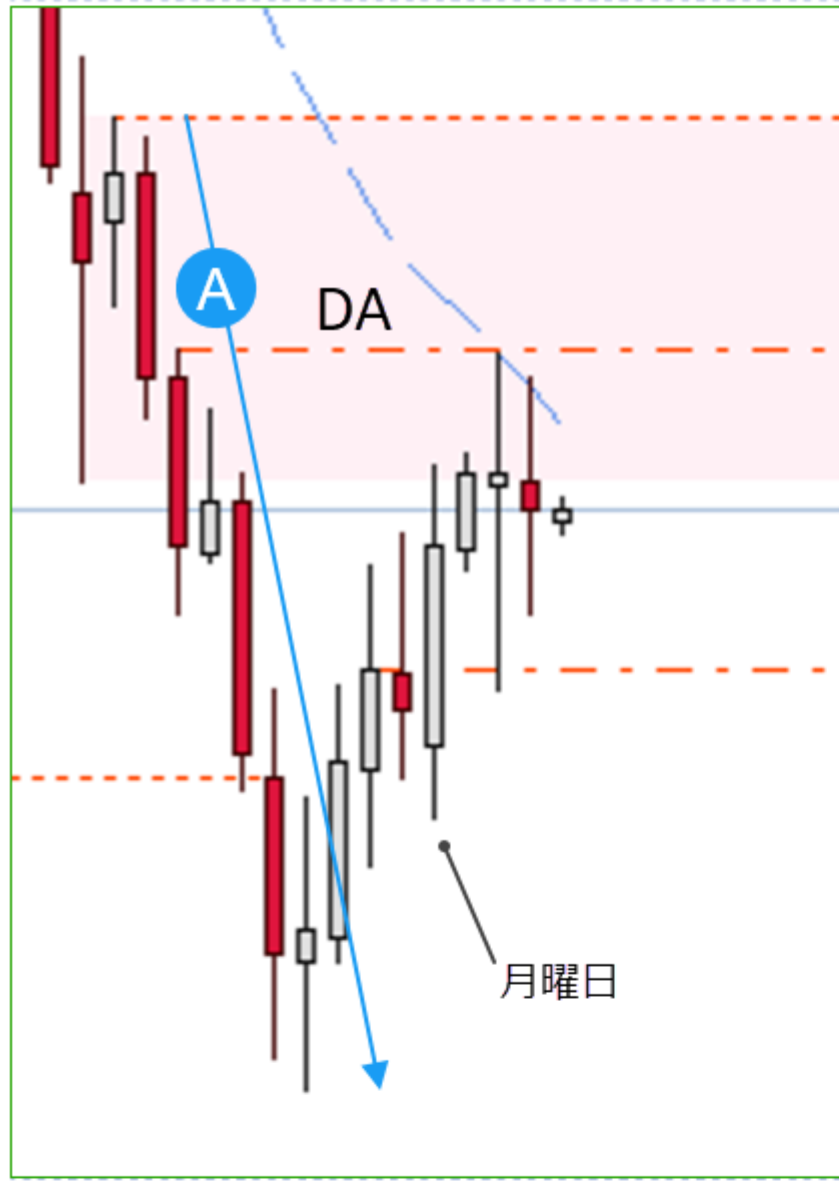
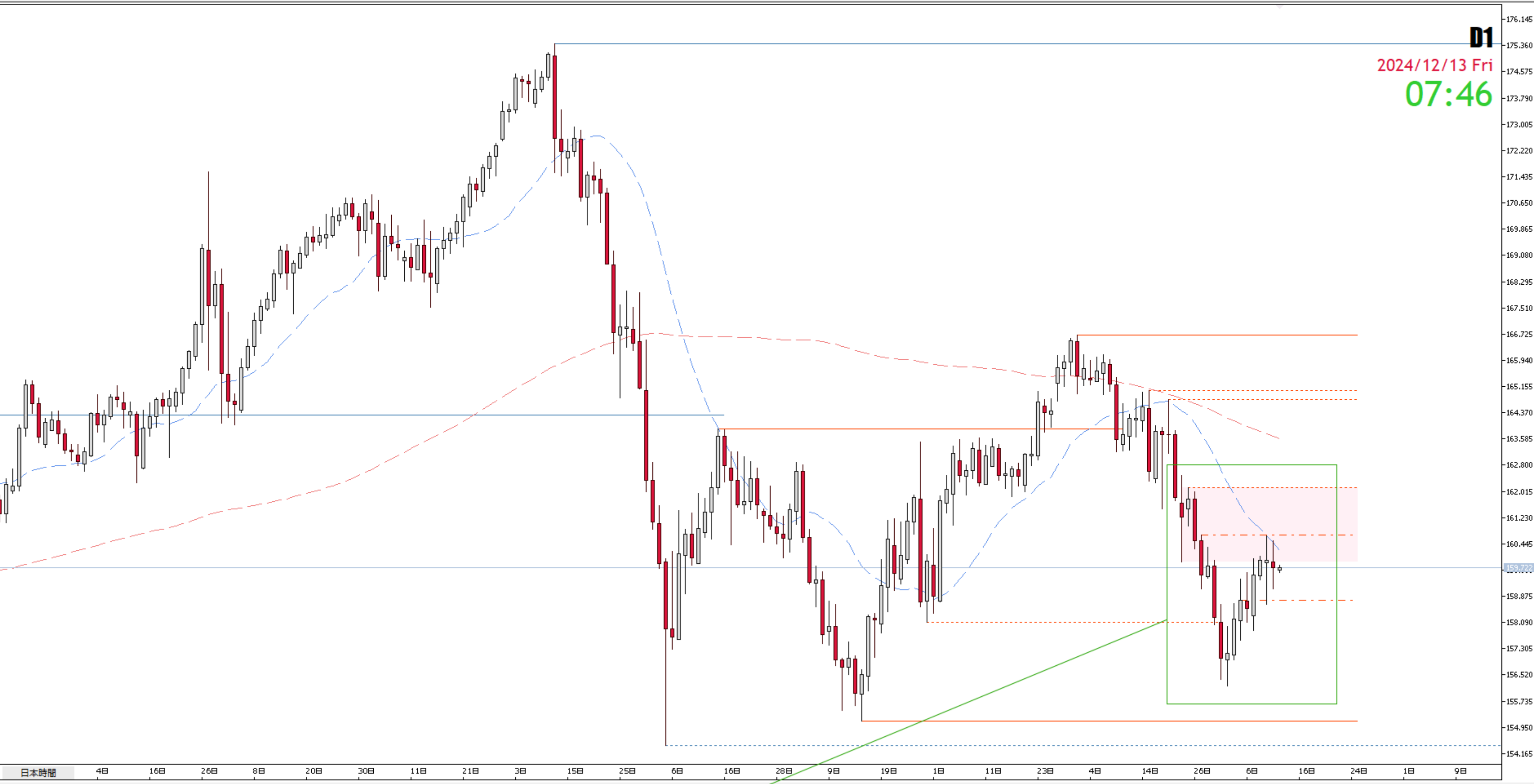
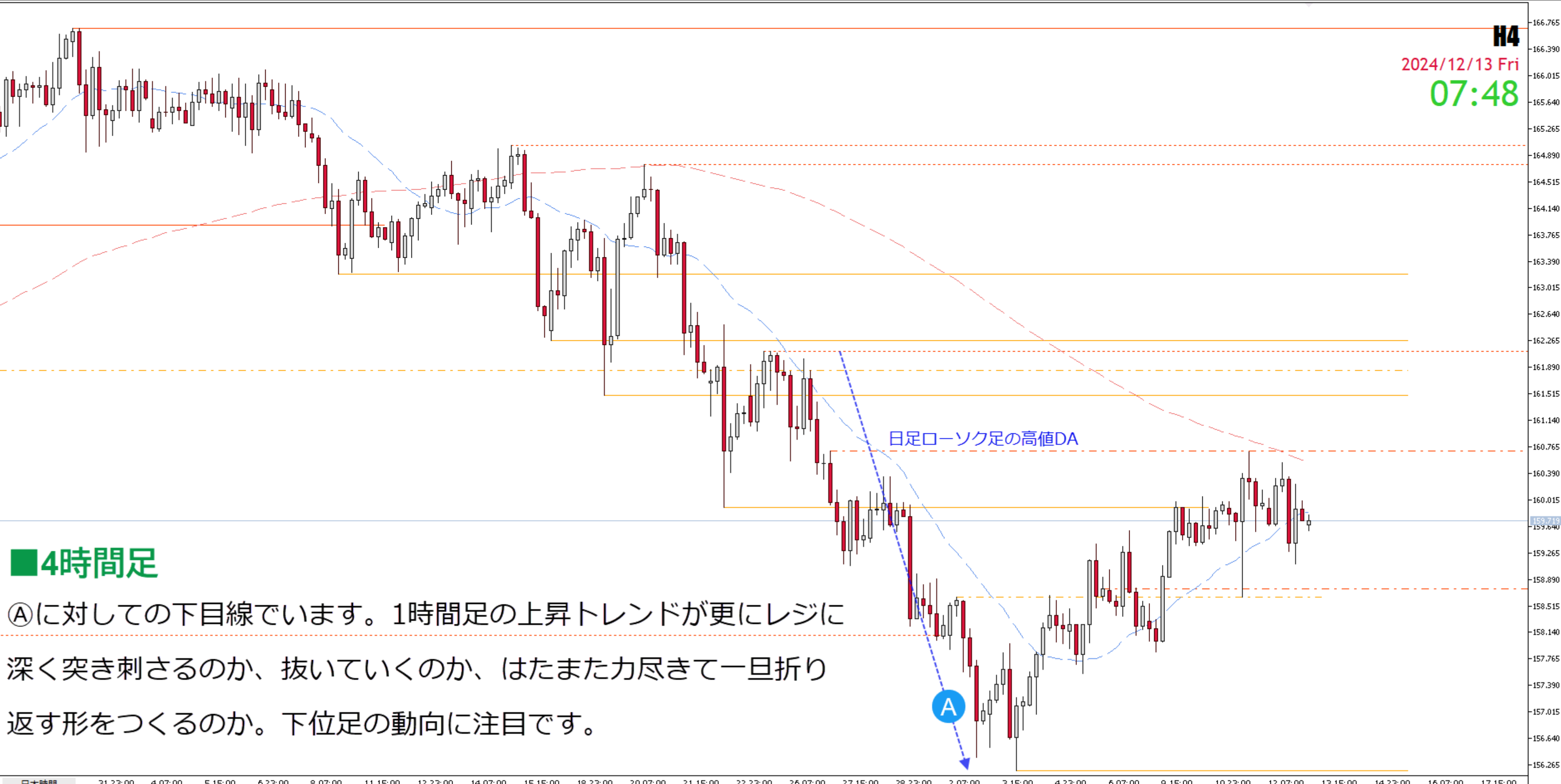


TITLE: 2024年第50週振り返りレポート	カテゴリー 振り返り
SUB: 長期足（日足）	DATE 2024/12/13(金)



■日足

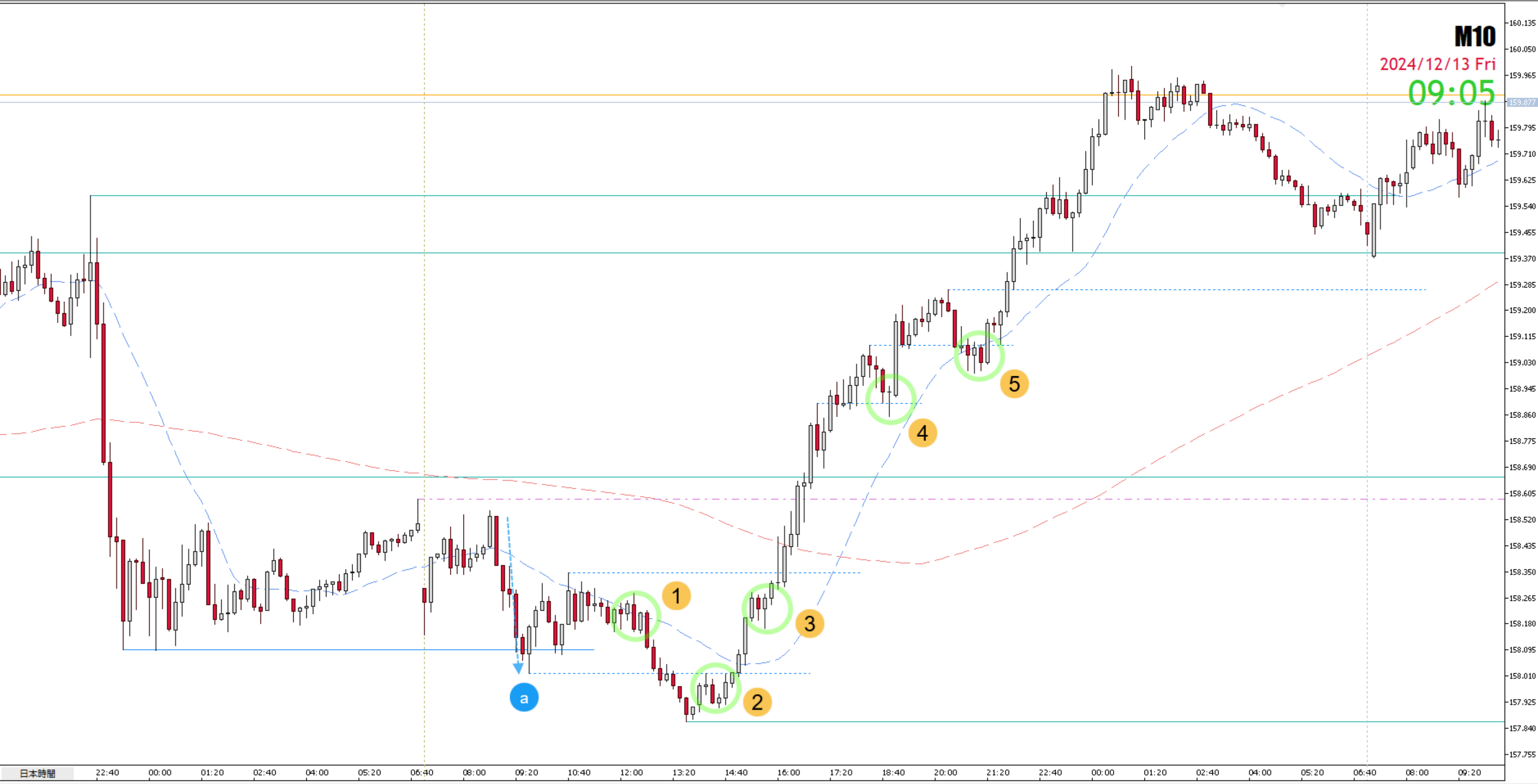
現状、4時間足レベルの④の波に対して下目線、ローソク波は1時間足サイズの上昇トレンドです。MA21と高値DAが意識されていると解釈しています。月曜日はツツミ陽線となってレジに突っ込む形で確定しました。火曜日、水曜日と押しが買われますが、MAと高値DAに阻まれて木曜日はもみ合いに転じています。本日金曜日はこのもみ合いをどちらに抜けていくのかに着目しています。



■4時間足

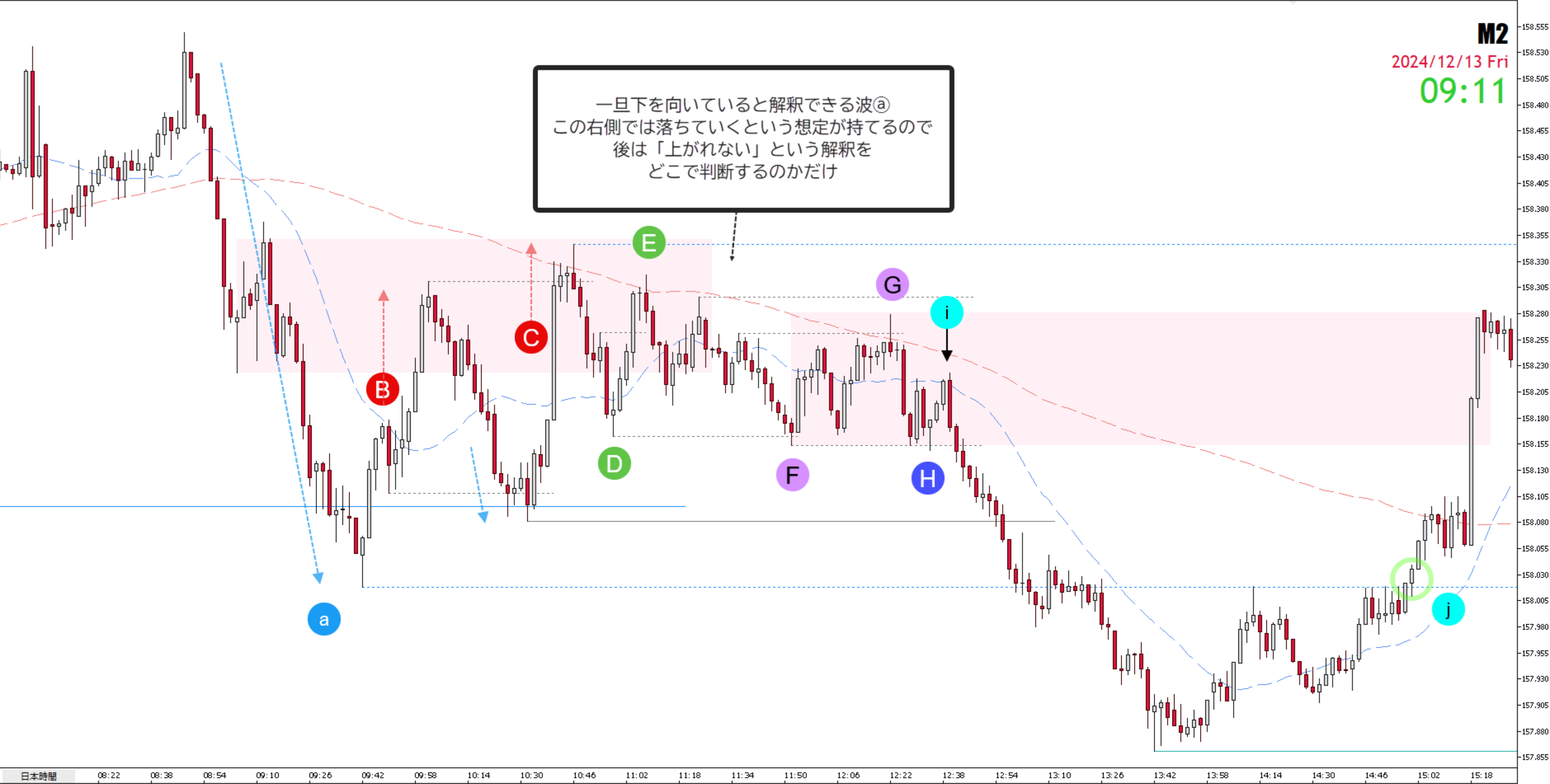
④に対しての下目線でいます。1時間足の上昇トレンドが更にレジに深く突き刺さるのか、抜いていくのか、はたまた力尽きて一旦折り返す形をつくるのか。下位足の動向に注目です。

TITLE: 2024年第50週振り返りレポート	カテゴリー 振り返り
SUB: 10分足 月曜日	DATE 2024/12/13(金)



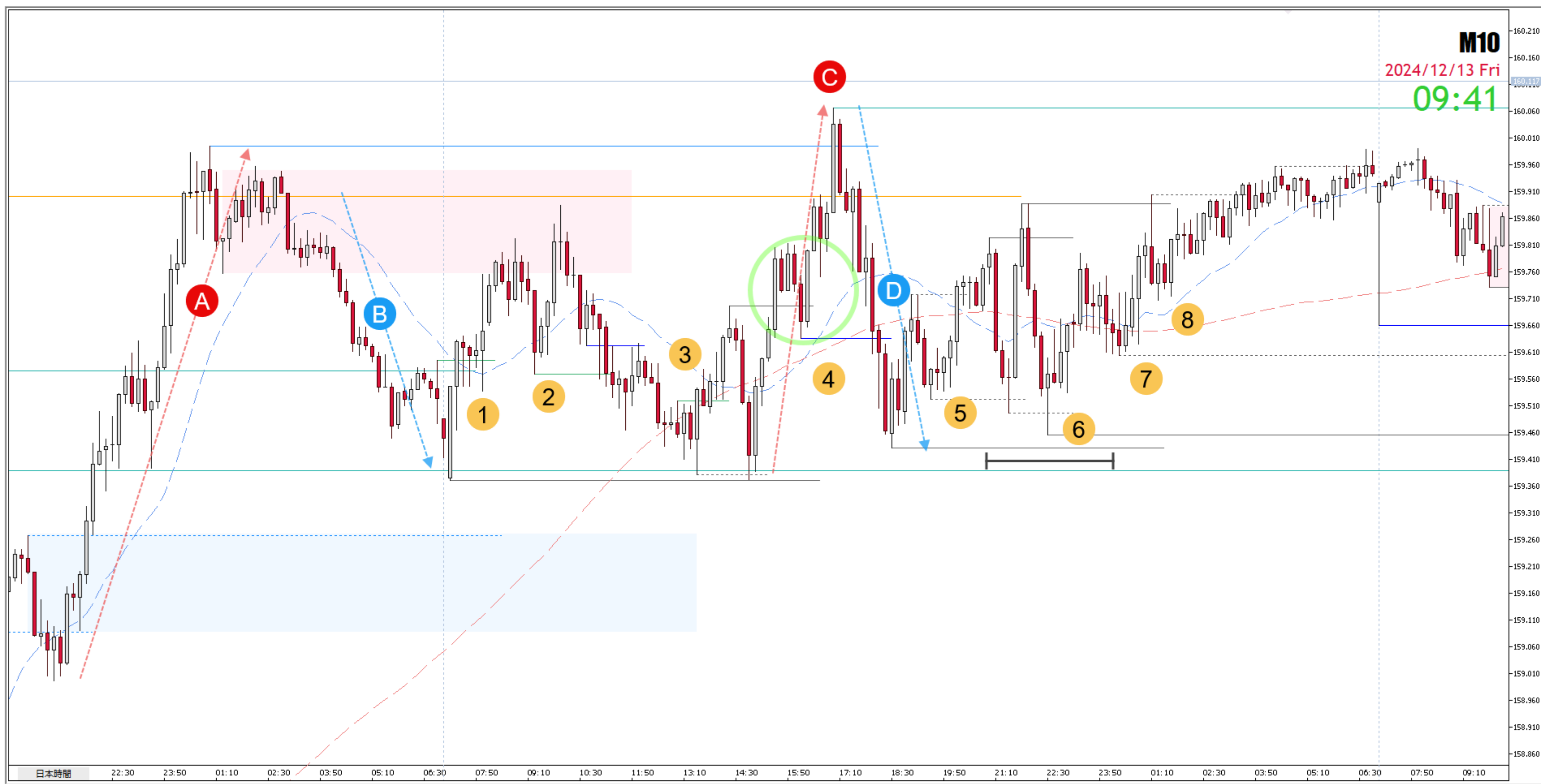
■10分足@月曜日のポイント

やはり下落が一旦続くことが分かった波③の後の①と、1時間足のサポート最深部に突っ込んでいるという状況で起きた下げ止まりのサイン②、レジを抜けていくという解釈が持てた③、ただしこの2つは実際判断が非常にシビアで難しいので、ハッキリと上昇が現れた後の④や⑤の押し目を拾っていく方が最初の内は簡単でおすすめです。



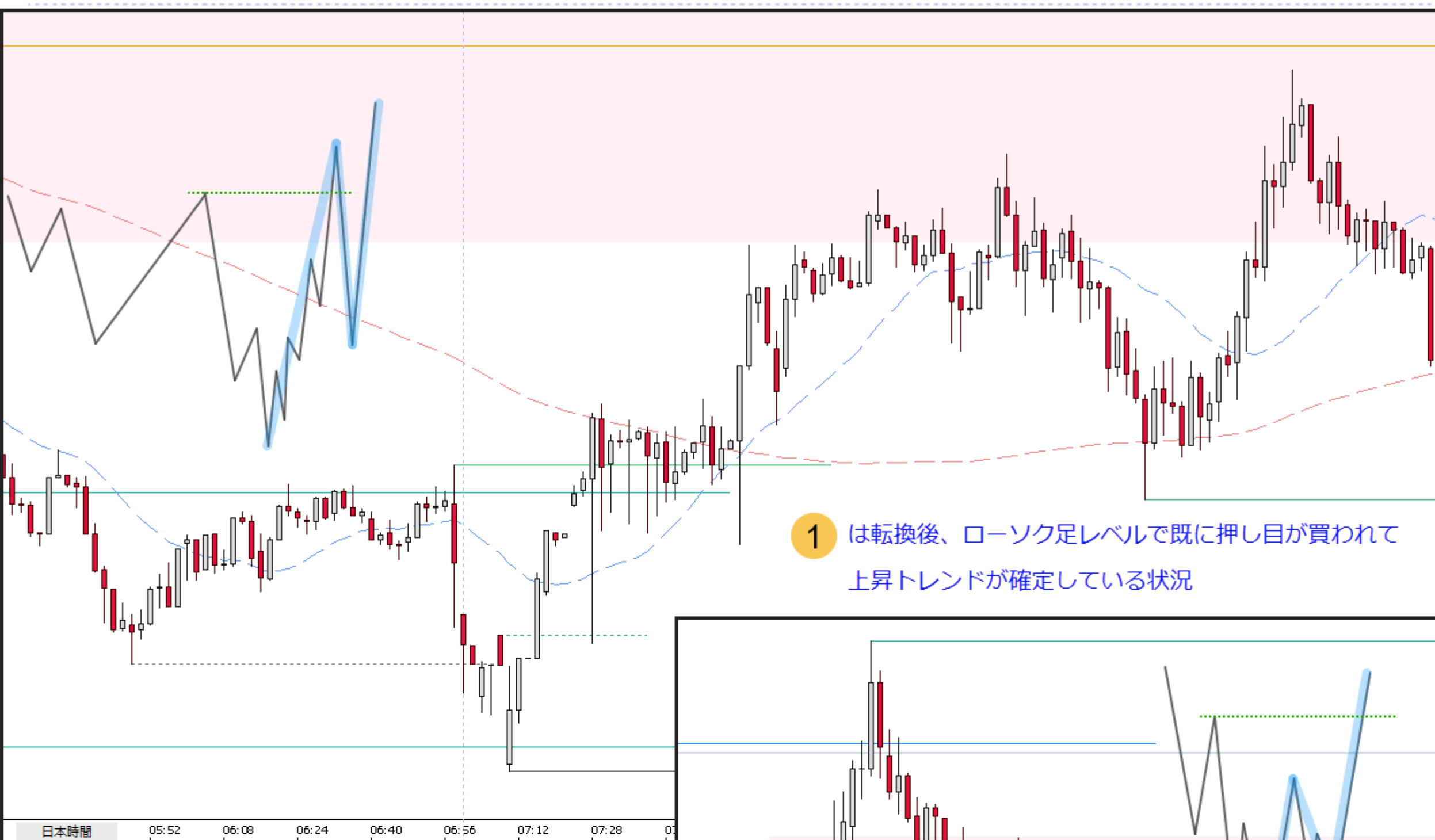
③が下を向いているという解釈のもと、この波の右側を下目線に固定する。しかし上がってきた④の頭を叩くのはまだ怖いので今度は「上がれない」という状況を待つ。すると⑤に対して⑥-⑦が押し目として入ってきたと解釈することができる。強気な姿勢が持てるなら、この安値⑥が割れてきた時に高値⑦にリスクを限定して⑤を叩けばいいし、⑤を叩くのもまだ怖いのであれば⑧を見てから⑨を叩けばいい。ちなみにわたしは⑨をショートしています。

TITLE: 2024年第50週振り返りレポート	カテゴリー 振り返り
SUB: 10分足 火曜日	DATE 2024/12/13(金)



■10分足@火曜日

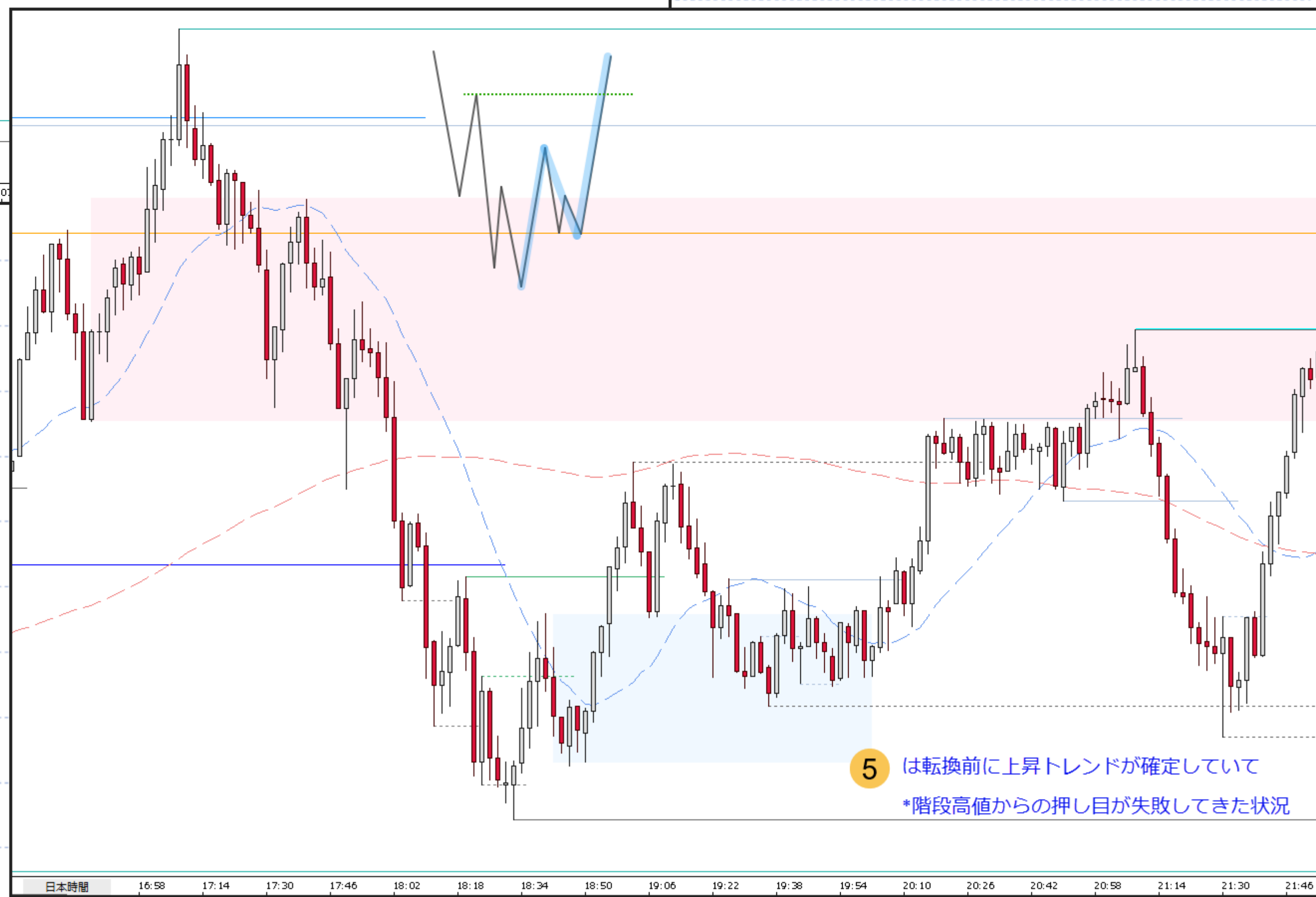
レポートを作成していていつも思うのですが、解説ポイントが多すぎる曜日が嫌です（汗）



1 は転換後、ローソク足レベルで既に押し目を買われて
上昇トレンドが確定している状況

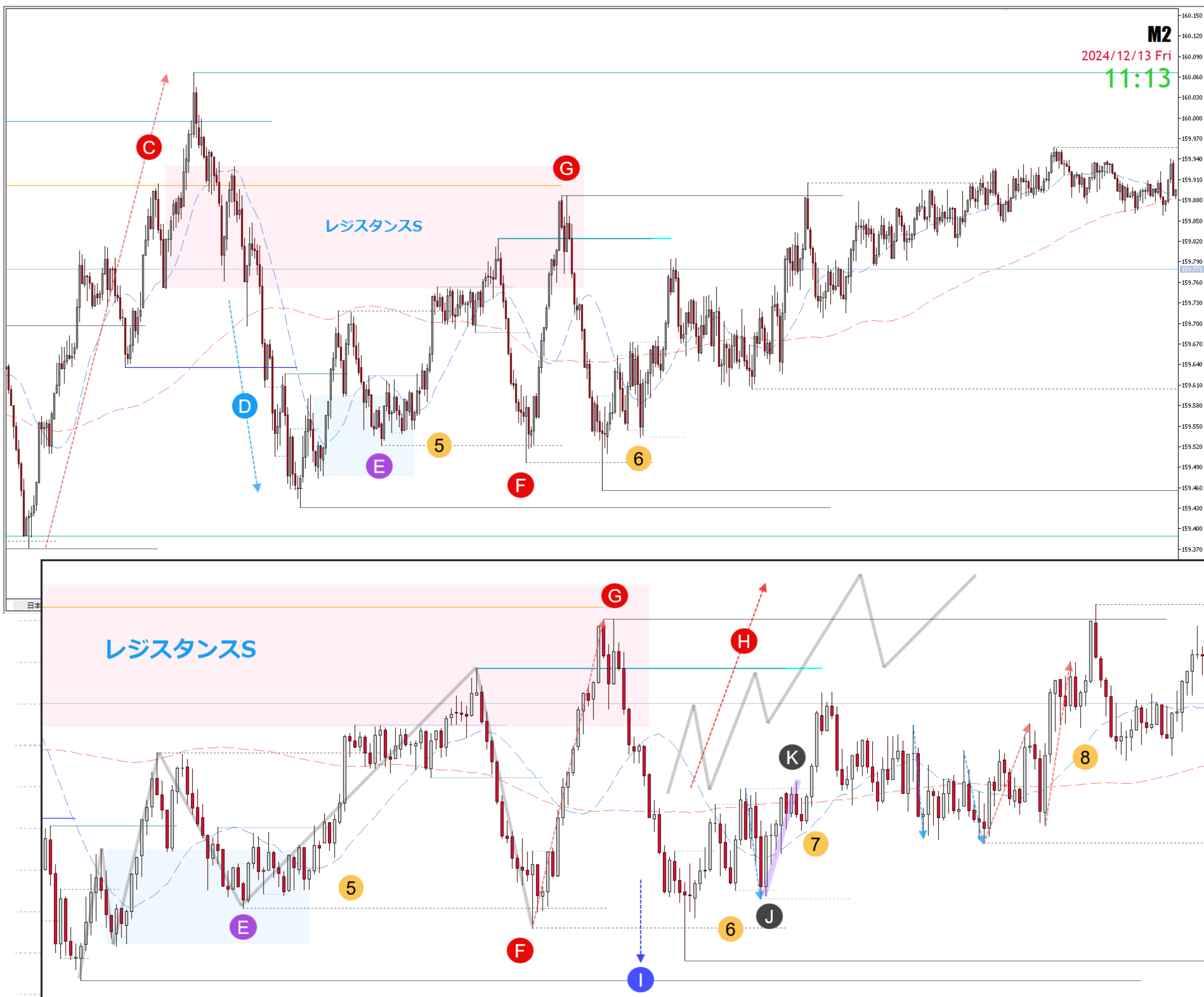
この日もお話ししたい内容が多すぎて的をどこに絞ろうか悩みます。ひとまず上昇①に対しての押し目、⑤に対しての押し目を考えるのがメインだった日となります。そんな中、押し目までの下落⑥や⑤の右側で買う際、こういった状況等待つか、どのタイミングで入っていくのか、気を付けるべきポイントは何か、な

どがあるのですが、特筆お話ししたいなと思えるのが①と⑤の違い、また⑥の動きになります。順を追って解説します。まずは①と⑤の状況の違いから。文字が小さいですが青字をお読みください。



5 は転換前に上昇トレンドが確定していて
*階段高値からの押し目が失敗してきた状況

TITLE: 2024年第50週振り返りレポート	カテゴリー 振り返り
SUB: 10分足 火曜日 2	DATE 2024/12/13(金)



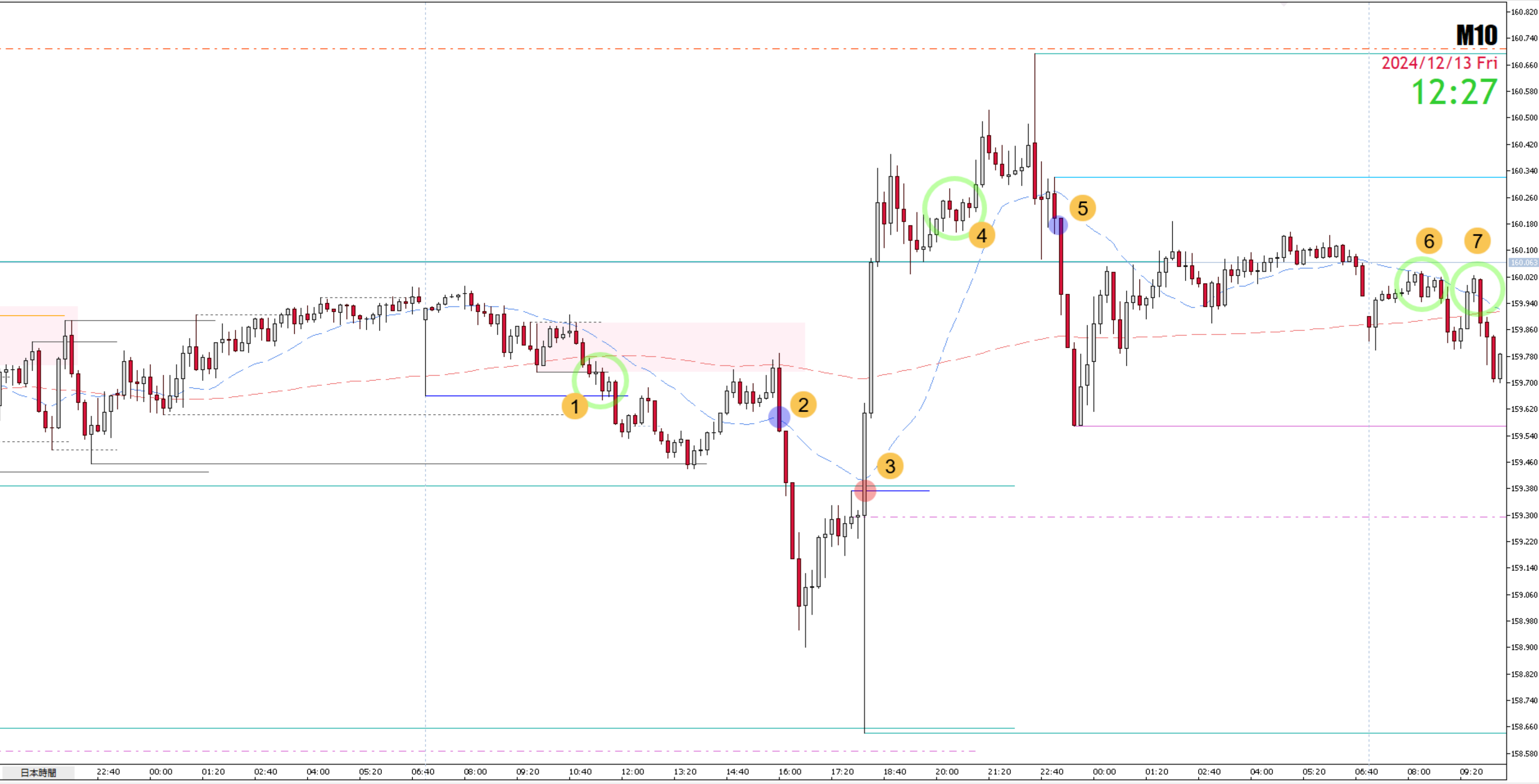
短期足ポイント⑥の話

レジスタンスSから安値⑤を切り下げる売りが入ってきた後、その下落の戻り売りがまったく入らない形で再度上昇⑥-⑦が発生した。この動きで⑥が押し目の2番底確定かなといった形になった。しかし今度はこの上昇波に対して押し目がまったく入らずに安値⑥が再び割れてしまう。本来ここに動き⑧を期待したエントリーパターンを待つ状況だったが、この動き⑨の発生によって、⑥からの戻り売りで上昇⑥に対する上目線が完全に交錯する状態となった。ただし⑥に対して目線を上に固定していた場合、やはり狙っていくのはロングであり、じゃあそれはどういう状況が起こった後が望ましいかという話になる。



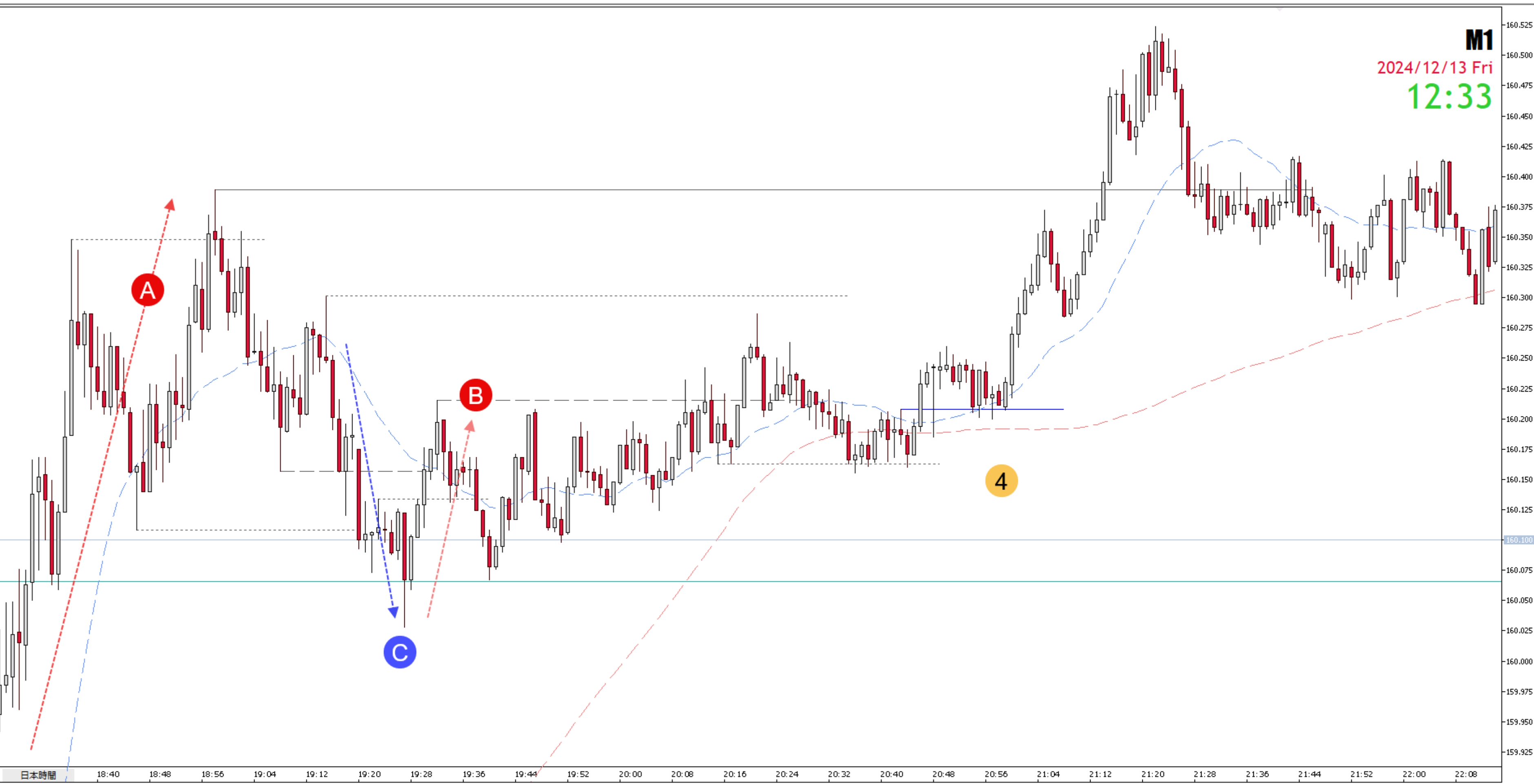
そしてそれは⑨から発生した上昇トレンドが一旦崩れて、その右側で誘われた売り方が失敗に終わる動き⑩-⑪の発生である。これによりまた、安値⑨が確定した可能性が考えられるためである。⑦を直接拾いにいくのか、更にこの右側で落ちれないサインを待つのか、⑥ブレイクをしっかりと待つのかの選択は上位足の状況やその時のチャートの躍動感を肌で感じていくしかない。

TITLE: 2024年第50週振り返りレポート	カテゴリー 振り返り
SUB: 10分足 水曜日	DATE 2024/12/13(金)



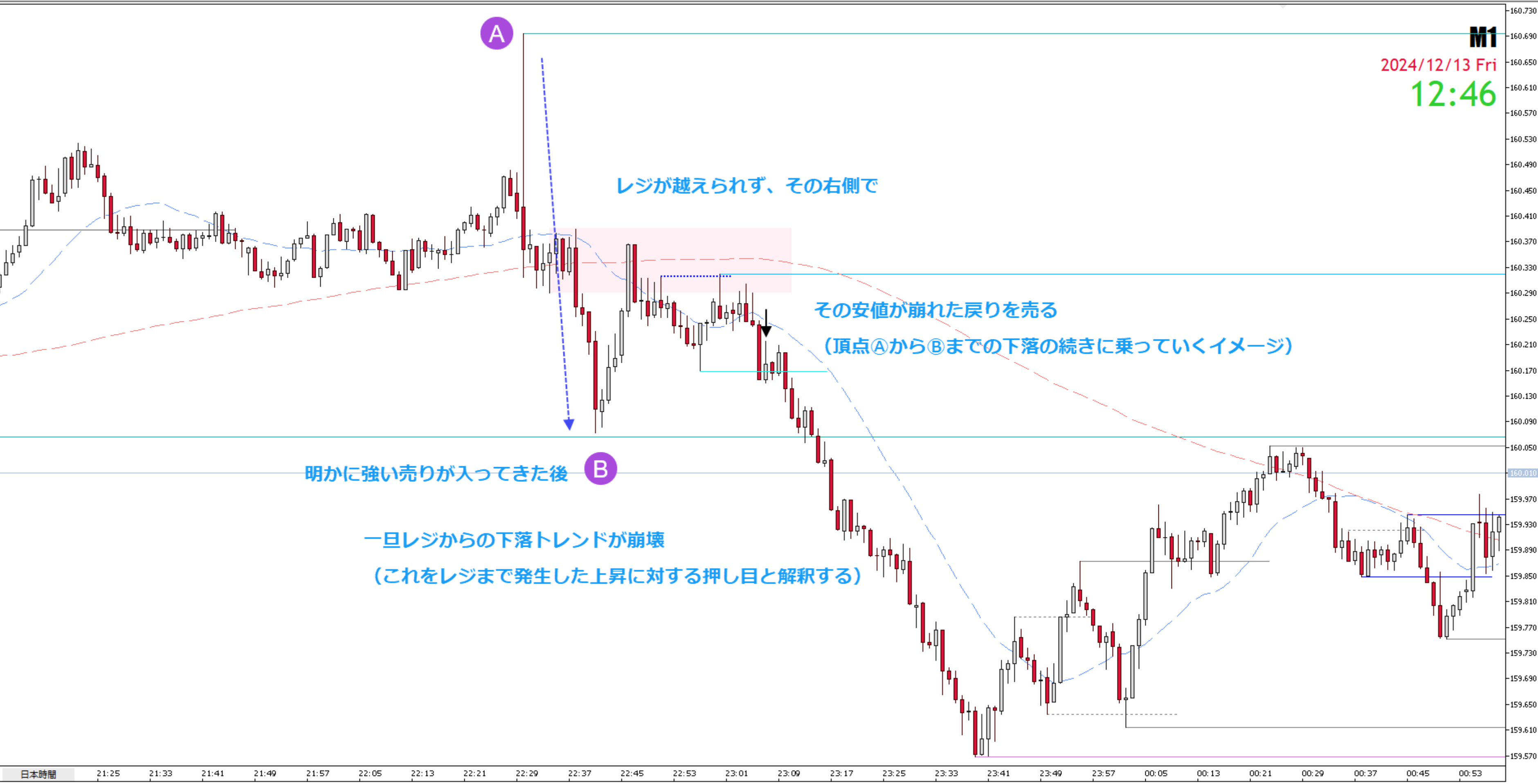
■10分足@水曜日

この日は全ての動きが早かった。選択の余地がない動きで上下していたため、かなりの判断をその場の裁量に任せるしかないが、別に無理にトレードをする必要はない。波が現れるまでは全て静観を決め込むのも正解の一つだ。それよりも自分が「これは明確なチャンスである」と認識できることの方が遥かに重要である。この日最も簡単なトレードはやはりハッキリとチャートに波が出現しだした④や明らかな売りが入ってきた後の⑤となる。

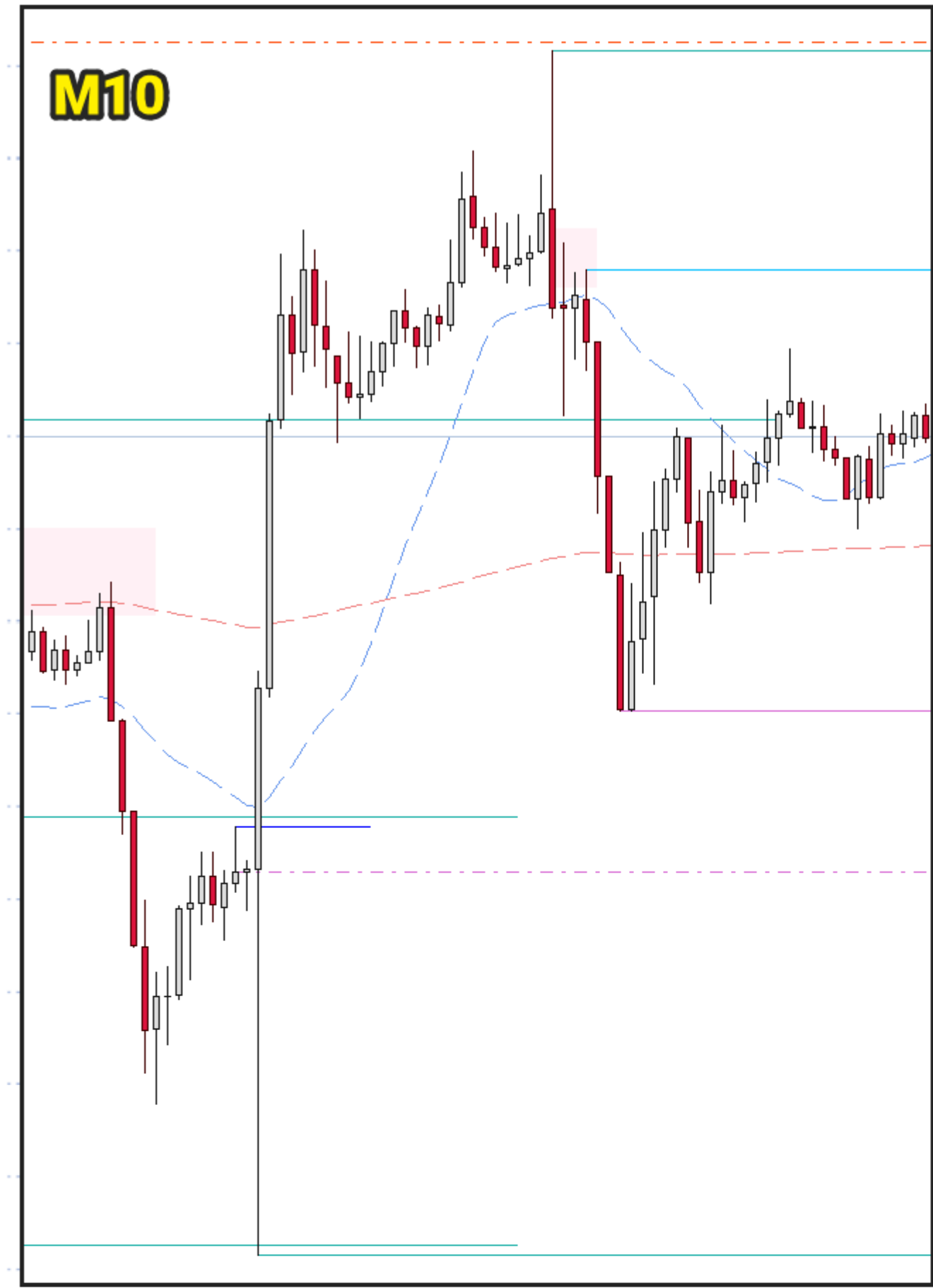


上昇④を構成していたトレンドがようやく崩れてきて長期の高値に乗る形になった。⑤の下落に対し上昇⑥が発生。ここでレンジを形成した後、⑥の高値がブレイクされたことで上昇トレンドが確定。その後再び一旦崩れて持ち直した時がエントリーチャンスになる。また、⑤に自信があった場合、崩れてきた辺りからロングを仕込むのも間違いではない。

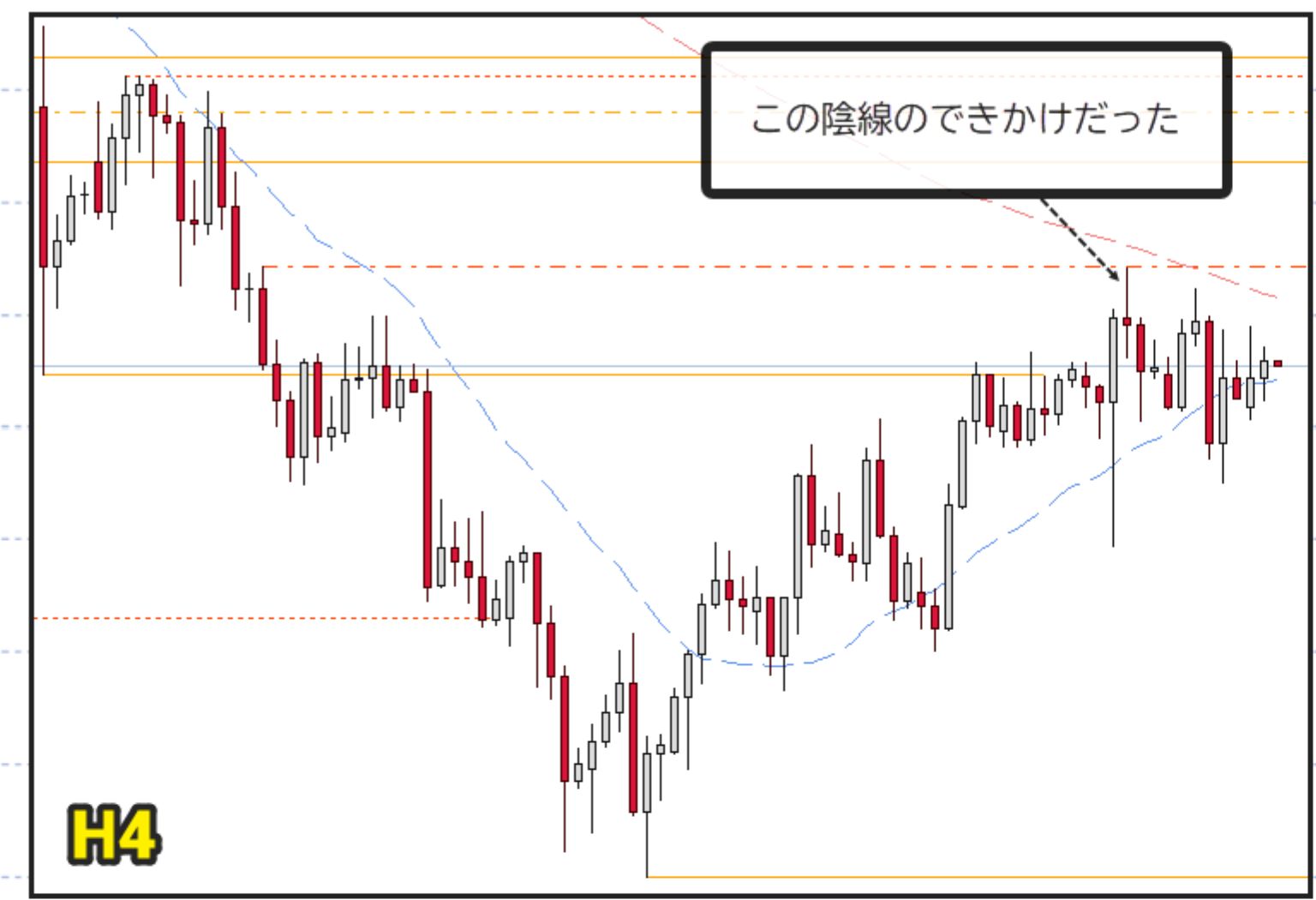
TITLE: 2024年第50週振り返りレポート	カテゴリー 振り返り
SUB: 10分足 水曜日 2	DATE 2024/12/13(金)



この考え方で最も重要なのはレジがレジとして機能したと判断したことと、上位足の背景状況になる。



それまでの上昇トレンドが一旦崩れて、押し目を探しにいく動きになるという
想定が立ったショートシナリオ



TITLE:	2024年第50週振り返りレポート	カテゴリ	振り返り
SUB:	10分足 木曜日	DATE	2024/12/13(金)

